

春AB 1226151

社会基礎学～グローバル人材に不可欠な教養Ⅰ

オーガナイザー教員 ●野村 港二 (教育イニシアティブ機構・教授)

第1回
4/22
【土】
13:00~16:40

【導入講義Ⅰ】筑波大学におけるグローバル人材育成方針

徳永 保 *Tamotsu Tokunaga*

筑波大学教員 大学執行役員(大学戦略・企画評価担当) 大学研究センター長

プロフィール 1976年、旧文部省入省。文部科学省研究振興局長、高等教育局長などを歴任。2010年国立教育政策研究所長。2012年から筑波大学教授。1991年-1992年米国連邦政府・国立科学財団(NSF)に派遣。高等教育局長在任中にグローバル30(大学国際化拠点整備事業)、教育の質保証を伴う日中韓の大学間交流事業を立ち上げた。主な著書に「アメリカの大学の管理運営(1992)」「グローバル人材育成のための大学評価指標」(2011)などがある。

佐藤 忍 *Shinobu Sato*

筑波大学教員 生命環境系教授 教育企画室長

プロフィール 1987年より筑波大学で教えている。植物生理学、特に細胞壁と根の機能が専門。本リレー講義には教育企画室長として関わっている。神奈川県出身。趣味：古典園芸系植物・野草の栽培

【導入講義Ⅱ】連続リレー講義の意味・意義と狙い

三浦 潔司 *Kiyoshi Miura*

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC) 常務理事

プロフィール 1988年新日本製鐵(株)入社。厚板営業部に在籍し、建築・土木造船、建設機械、産業機械等幅広い分野への営業を担当。2011年より5年間、(株)富士鉄鋼センターにおいて経営を担い、工場の統廃合を経験。2016年より現職。



【パネルディスカッション】【第1部】

グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?

【パネルディスカッション】【第2部】

学生は何を学び、何を身に付けるべきか?

窪田 朗 *Akira Kubota*

◀パネリスト

新日鉄住金(株) 自動車鋼板営業部 自動車鋼板第一室長

プロフィール 1993年新日本製鐵(株)(現：新日鉄住金(株))入社。人事、自動車鋼板営業部(海外営業)、秘書等を経て、2012年から自動車鋼板輸出室長、16年より現職。主に国内自動車メーカーの営業、当社自動車鋼板事業戦略の立案に従事。東京都出身。趣味：街歩き、史跡めぐり。

吉村 麻央 *Mao Yoshimura*

◀パネリスト

石破茂衆議院議員 政策担当秘書

プロフィール 早稲田大学在学中、米コロンビア大学短期留学、政策担当秘書資格試験に合格。多くのアルバイトを経験し、卒業後、石破茂事務所勤務、在職20年。国務大臣防衛庁長官秘書官などを務め、公務にて海外出張を多数経験。陸上自衛隊予備自衛官として15年間登録(昨年退職)。尊敬する人(?)はヨダ。

徳永 保 *Tamotsu Tokunaga*

◀パネリスト

筑波大学教員 大学執行役員(大学戦略・企画評価担当) 大学研究センター長

プロフィール 1976年、旧文部省入省。文部科学省研究振興局長、高等教育局長などを歴任。2010年国立教育政策研究所長。2012年から筑波大学教授。1991年-1992年米国連邦政府・国立科学財団(NSF)に派遣。高等教育局長在任中にグローバル30(大学国際化拠点整備事業)、教育の質保証を伴う日中韓の大学間交流事業を立ち上げた。主な著書に「アメリカの大学の管理運営(1992)」「グローバル人材育成のための大学評価指標」(2011)などがある。

佐藤 忍 *Shinobu Sato*

◀パネリスト

筑波大学教員 生命環境系教授 教育企画室長

プロフィール 1987年より筑波大学で教えている。植物生理学、特に細胞壁と根の機能が専門。本リレー講義には教育企画室長として関わっている。神奈川県出身。趣味：古典園芸系植物・野草の栽培

三浦 潔司 *Kiyoshi Miura*

◀パネリスト

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC) 常務理事

プロフィール 1988年新日本製鐵(株)入社。厚板営業部に在籍し、建築・土木造船、建設機械、産業機械等幅広い分野への営業を担当。2011年より5年間、(株)富士鉄鋼センターにおいて経営を担い、工場の統廃合を経験。2016年より現職。

野村 港二 *Koji Nomura*

◀コーディネーター

筑波大学教員 教育イニシアティブ機構教授 大学院共通科目委員会委員長

プロフィール 1988年秋田県立農業短期大学講師、1991年より筑波大学で教えている。植物生理学、特に分化全能性が専門。本リレー講義には大学院共通科目委員長として関わっている。東京都出身。趣味：サボテンづくり、自転車の組み立て、大工仕事

講義概要 グローバル化とは何か?日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。グローバル人材とは何か?産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。



日本外交の現状と課題

秋葉 剛男 *Takeo Akiba*

外務省 外務審議官

プロフィール 1982年外務省入省。事務次官秘書官、総合外交政策局国連政策課長、国際法局国際法課長、アジア大洋州局中国・モンゴル課長、在アメリカ合衆国日本国大使館公使、国際法局長、総合外交政策局長などを歴任し、2016年6月より現職。神奈川県出身。趣味：サッカー。

講義概要 中国が台頭し、米国やヨーロッパの政治が大きく変動する中で、我が国の外交が直面する課題を紹介する。

ダイバーシティと人材活用

～国際機関、アジアに於けるマネジメントから日本の女性起業支援へ～

原田 文代 *Fumiyo Harada*

(株)日本政策投資銀行 国際統括部 担当部長 兼 女性起業サポートセンター長

プロフィール 平成4年に入行後、地域開発プロジェクトや発展途上等への技術支援、海外企業の対日投資、日本企業の対外インフラ投資等を担当した後、国際金融公社にて東アジアのインフラ整備に従事し、DBJシンガポール副社長を経て2015年2月より現職。海外中心に多様なバックグラウンドを持つ人材のマネジメントを経験し、種々の女性起業支援に携わるとともに、アジア関連ビジネスを担当。

講義概要 女性の視点による新たなビジネスと日本企業のより一層の海外進出は、我が国の更なる成長に欠かせない新たな市場創出と社会変革の原動力として求められています。DBJ女性起業サポートセンターにおける支援活動や、世界銀行グループの国際金融公社、DBJシンガポール現地法人における海外金融実務と人材マネジメント業務を通じて自身で培った知見と経験に基づき、組織におけるダイバーシティマネジメント論を独自に解説します。

第2回

5/20
[土]

14:00～17:00

現代の金融システム

吉村 隆 *Takashi Yoshimura*

ゴールドマン・サックス証券(株)コンプライアンス部門統括 マネージングディレクター

プロフィール 1985年日本銀行入行。IMF出向、ニューヨーク事務所次長、政策委員会室企画役を経て、2007年ゴールドマン・サックス証券(株)の現職に就任。日本創生委員。趣味：旅行、オペラ、ゴルフ。座右の銘：天網恢恢疎にして漏らさず。

講義概要 金融は企業や個人が経済活動を行う上で不可欠な役割を果たしている。その一方で経済に悪影響を与えることもあり、悪者扱いされることも多い。講義では金融が個人の生活や企業活動にどう役立っているかについて、具体的にみたらうで、どう活用していくことが望ましいかを考えてみたい。

途上国・新興国に対する日本の貢献 ～日本の政府開発援助を振り返る

江島 真也 *Shinya Ejima*

(独)国際協力機構(JICA) 理事

プロフィール 1983年海外経済協力基金(OECF)採用。組織改編に伴い国際協力銀行(JBIC)を経て2008年10月よりJICA勤務。2016年10月理事に就任。この間、東南アジアや南アジアの開発途上国への政府開発援助(ODA)、とりわけ有償資金協力(円借款)を通じてインフラ事業の推進に従事。在外経験はタイ、フィリピン、スリランカ、インド。最近の趣味はインド時代に始めたボリウッドダンス。

講義概要 そう遠くない過去に日本の途上国援助額が、10年間にわたり世界一だったことをどれだけの人か記憶しているだろう。最近では世界4位だが、これはわが国の国力低下の反映なのか、東南アジアや中国などが援助を必要となくなったのか、はたまた新興国の援助が日本にとって代わったのか。開始から60年が過ぎた日本の政府開発援助を振り返りつつ、わが国に期待される開発途上国・新興国への支援や貢献について考える。

第3回

6/3
[土]

13:30～16:30

日本政治の現状と課題

伊藤 宏 *Hiroshi Ito*

朝日新聞社 水戸総局長

プロフィール 1992年、朝日新聞社に入社。静岡、福島両支局員を経て、1997年に政治部員。首相官邸、自民党、外務・防衛両省などを担当。その間に、米ハンダービルト大学に客員研究員として留学。2009年4月からアメリカ総局長(ワシントン)として、日米関係、米国政治、米大統領選などを担当。2013年4月より政治部次長。2017年4月より現職。

講義概要 安倍晋三首相が就任から4年を超え、長期政権の様相を見せている。内政・外交に様々な課題を抱える中、この1年、安倍政権はどう動き、どこへ向かおうとしているのか。今年に入ってからの政権の様相な動きを振り返りつつ、今年後半の政権の課題を見通す。あわせて首相官邸の権力が強化されている政治的構造などについても解説する。

日本が誇る環境都市づくりの海外展開

石川 貴之 *Takayuki Ishikawa*

(株)日建設計総合研究所 理事 上席研究員

プロフィール 1987年日建設計入社。京セラドーム周辺、なんばパークス開発等の大規模都市開発業務に従事。2008年より(株)日建設計総合研究所にて東アジアを中心に低炭素都市業務に従事し、近年は官民連携の海外展開支援の仕事を中心にロシアにおけるスマートシティ計画にも携わっている。山口県出身。学生時代はバスケットボール一色。現在は週一のジム通いで体型をコントロールして維持。

講義概要 地球規模での人口爆発と都市化が進展する中で、地球温暖化対策として都市の低炭素化(環境都市化)を進めることが必須条件となりつつある。特に成長・発展の著しい東アジアの新興諸国においては、我が国と同様の高温多湿の気候風土を有しており、日本が培った様々な省エネ技術を活用して環境都市化を進めることが有効である。本講義では近年我が国の官民が連携して取り組んでいる環境都市の海外展開について概説する。

第4回

6/17
[土]

13:30～16:30

交通・観光ビッグデータがもたらす変革

野津 直樹 *Naoki Nozu*

(株)ナビタイムジャパン 交通コンサルティング事業部 事業責任者

プロフィール ナビゲーションサービスを通じて培ってきたデータ・技術・ユーザ基盤を活かした交通・観光ビッグデータの分析業務に従事し、全国の交通最適化や国内観光・インバウンド観光振興を通じた地域活性化に取り組む。学術分野における主要な業績として、観光情報学全国大会にて大会優秀賞を2年連続受賞(第12回・第13回)。和歌山大学国際観光学術研究センター客員研究員。

講義概要 カーナビや乗換検索といったナビゲーションサービスは、今や交通インフラの一部として定着し、月間ユニークユーザ3500万人を誇るナビタイムジャパンにはその利用実績データが大量に蓄積されています。本講義では、渋滞対策、イベント時の突発的移動需要検出、観光施設の集客、訪日外国人の回遊など、交通・観光ビッグデータの幅広い分析事例を紹介した上で、ビッグデータが交通・観光分野にもたらす変革について議論します。

第4次産業革命の実現に向けて

～ロボット・ドローンを中心に～

片岡 隆一 *Ryuichi Kataoka*

経済産業省 製造産業局 産業機械課長

プロフィール 1993年通商産業省入省。通商白書2010の執筆責任者、マクロ経済政策の司令塔事務局(経済対策・経済見通し、内閣府に出向)、日本経済再生に向けた成長戦略(内閣官房日本経済再生総合事務局に出向)、マクロ経済の調査分析(経済産業政策局調査課長)、財政健全化等(財務省主計局参事官に出向)を経て、昨年6月より現職。

講義概要 日本は、世界最速で少子高齢化が進展する一方で、世界の成長センター・アジアに位置し中国とも近い。失われた20年とされるデフレから脱却し、地方創生・経済再生と財政健全化を同時に達成するには、国内対外の双方で断然なイノベーションが求められる。600兆円経済を始め一億活躍社会の実現にとって重要な鍵となる第4次産業革命、その重要な要素であるロボットやドローンを中心に日本の進むべき方向性を考える。

第5回

6/24
[土]

13:30～16:30

秋AB 1G26031

社会基礎学～グローバル人材に社会が求める教養

オーガナイザー教員 ● 五十嵐 浩也 (芸術系・教授、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長)

第1回
10/14
【土】
13:30~16:30

【導入講義】連続リレー講義の意味・意義と狙い

三浦 潔司 *Kiyoshi Miura*

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC) 常務理事

プロフィール 1988年新日本製鐵(株)入社。厚板営業部に在籍し、建築・土木造船、建設機械、産業機械等幅広い分野への営業を担当。2011年より5年間、(株)富士鉄鋼センターにおいて経営を担い、工場の統廃合を経験。2016年より現職。

【パネルディスカッション】【第1部】

グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?

【パネルディスカッション】【第2部】

学生は何を学び、何を身に付けるべきか?



進藤 秀夫 *Hideo Shindo*

＜パネリスト＞

内閣府 大臣官房審議官 (科学技術・イノベーション担当)

プロフィール 1986年通商産業省入省。(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構ワシントン事務所長、経済産業省産業再生課長、紙業生活文化用品課長、大学連携推進課長、(独)産業技術総合研究所企画本部副本部長、東北大学理事(産学連携担当)などを経て2016年7月より現職。神奈川県出身。趣味：よく食べ眠り、そして歩くこと。

川手 康司 *Koji Kawate*

＜パネリスト＞

みずほ銀行 産業調査部 公共・社会インフラ室長

プロフィール 1992年第一勧業銀行(現みずほ銀行)入行。法人営業部門や投資銀行部門(不動産ファイナンス業務)を経て、2014年より現職。営業部では、大手流通事業者やデベロッパー等を担当。現部署におけるカバー産業は、不動産・住宅、住設・建材、建設、陸海空運、ホテル・レジャー、医療・介護・シルバー。東京都出身。趣味：ゴルフ、読書。

五十嵐 浩也 *Hiroya Igarashi*

＜コーディネーター＞

筑波大学教員(芸術系・教授)/ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長

プロフィール GKインダストリアル・デザイン研究所、富士ゼロックスデザイン研究所を経て、筑波技術短期大学聴覚部デザイン学科、そのうち現職。

講義概要 グローバル化とは何か?日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。グローバル人材とは何か?産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。

太田 誠 *Makoto Ota*

＜パネリスト＞

21世紀政策研究所 事務局長

プロフィール 1986年経団連事務局入局。国際経済本部調査役(北東アジア、ロシア担当)、産業政策本部次長(産業政策、国際物流政策担当)、国際協力本部副本部長(韓国担当)を経て、2012年より現職。1991年～95年ソウル駐在。専門は李氏朝鮮の外交思想と行政過程論。博士(学術/東北大学)。

三浦 潔司 *Kiyoshi Miura*

＜パネリスト＞

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC) 常務理事

プロフィール 1988年新日本製鐵(株)入社。厚板営業部に在籍し、建築・土木造船、建設機械、産業機械等幅広い分野への営業を担当。2011年より5年間、(株)富士鉄鋼センターにおいて経営を担い、工場の統廃合を経験。2016年より現職。

都市ソリューションの輸出

野田 由美子 *Yumiko Noda*

PwCアドバイザリー合同会社 パートナー インフラ・PPP部門統括、都市ソリューションセンター長

プロフィール 日本長期信用銀行(現新生銀行)ロンドン支店プロジェクトファイナンス部次長を経て、PwC英国法人入社。日本のPFI市場の創設と発展に深く携わる。2007-09年横浜市副市長。国土交通省交通政策審議会委員、シンガポール政府CLCのUrban Solution Advisory Panelメンバー他。東京大学、ハーバードビジネススクール(MBA)卒業。

講義概要 世界のメガトレンドであるUrbanization(都市化)は、交通・環境・災害など多様な都市課題を引き起こすとともに、世界の都市間競争を加速させている。こうした中、世界の都市のリーダーは今、どのようなチャレンジに挑んでいるのか。急速な都市化を経験・克服し、環境に優れた都市を構築してきたわが国には何ができるのか。「都市ソリューション」をキーワードに、わが国の成長と世界への貢献について考える。

GDP600兆円に向けた経済産業省の取組

佐々木 啓介 *Keisuke Sasaki*

経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課長

プロフィール 1993年通商産業省入省。製造産業局クールジャパン室企画官、経済産業省産業資金課長 兼 新規産業室長を経て、2015年7月より商務情報政策局サービス政策課長を担当。GDP600兆円の達成に向け、サービス産業の生産性向上に取り組んでいる。

講義概要 政府が掲げるGDP600兆円を達成するためには、GDPの7割以上を占めるサービス産業の生産性向上が不可欠である。本講義ではそのための施策である、①ITツールの導入等による生産性の底上げ、②スポーツ産業・観光産業といったフロンティア市場の開拓、③国外にも日本のサービス産業の市場を拡大するための海外展開支援、④生産性向上の基盤となるおもてなしの質の認証制度や経営人材育成、等の取組を紹介する。

第2回
10/28
【土】
13:30~16:30



総合商社の活動、国際情勢、 少子高齢化の現実

島崎 豊 *Yutaka Shimazaki*

丸紅(株) 執行役員 秘書部長 兼 広報部長

プロフィール 1982年丸紅(株)入社。海外におけるインフラ施設の建設および投資事業に従事し、特に上下水等の水ビジネスを先がけて推進。経営トップの財界・社外活動の補佐業務や社業の広報活動に従事。日本創生委員。慶応義塾リーディング大学院特任教授。東京都出身。学生時代：体育会グランドホッケー部所属。趣味：スイミング、ゴルフ。

講義概要 総合商社のビジネスの内容と最近の国際情勢、そして日本が直面している少子高齢化を取り上げ、わが国が進むべき方向を考える。

日本経済の展望と課題

岡部 央 *Hiroshi Okabe*

(一社)共同通信社 編集局 次長

プロフィール 1983年に共同通信に入社し、日銀、財務省、首相官邸、経済産業省、外務省などで経済政策を担当。1997年から3年間、ワシントン特派員として、アジア金融危機などの取材を経験した。2011年から2年間、経済部長。その後、総務局次長兼人事労務部長を経て、2013年から編集局次長を務めている。日本の「今」を、海外に情報発信する英文雑誌の編集委員も務めた。京都市出身。

講義概要 波乱含みの国際経済情勢を読み解く鍵はどこにあるのか。高度成長期を終えた中国経済の軟着陸、構造的な原油安など世界経済の行方を展望する。民主党政権からアベノミクスまで、日本の経済運営の課題を検証しながら、人口減少時代の中での経済活性化に向けた日本の課題を考察する。

第3回

11/11
[土]

13:30~16:30

企業経営の現状・課題と戦略

右田 彰雄 *Akio Migita*

新日鐵住金(株) 常務執行役員 人事労政部長

プロフィール 1984年新日本製鐵(株)(現 新日鐵住金(株))入社。2015年人事労政部長、2017年常務執行役員(現職)。(財)企業活力研究所雇用・人材開発委員会委員長、(公)東京労働基準協会連合会中央労働基準協会支部長等の活動を含め、我が国企業、とりわけ製造業の雇用・労働政策に企業実務の立場から積極的に関わる。

講義概要 本格的少子高齢化とそれに伴う内需縮小、国際的にはアンチグローバリズム、ブロック経済化のリスク等、我が国のものづくり産業が直面する課題は従来にも増して複雑化しつつある。本講義では、国内において企業統合と生産効率の極限向上を進める一方、海外では現地生産化とアライアンスネットワークの構築している新日鐵住金の事例をもとに、受講生の皆さんとともに、我が国製造業の今後と人事政策のあり方を考えてみたい。

日本の安全保障環境と防衛政策

鈴木 敦夫 *Atsuo Suzuki*

防衛省 大臣官房審議官

プロフィール 1985年防衛庁入庁。米国防大学国家戦略研究所客員研究員、運用局運用課長、運用企画局国際協力課長、防衛政策局調査課長、防衛政策局防衛政策課長、大臣官房米軍再編調整官、情報本部副本部長(兼)大臣官房審議官、防衛政策局次長などを経て現職(いずれも当時の名称)。

講義概要 国際テロ組織の活動の活発化・拡散、力を背景とした現状変更の試み等、安全保障上の課題や不安定要因は、複雑かつ多様で広範にわたっており、一国のみでの対応はますます困難なものになっている。そのような中、我が国は、新しい安全保障・防衛政策によってどう対応しようとしているのか。特別な軍事知識等は不要。時事問題を扱いながら分かり易く解説したい。

第4回

11/25
[土]

13:30~16:30

地方自治の視点から社会資本整備を考える

森 民夫 *Tamio Mori*

前全国市長会 会長・前長岡市長

プロフィール 1975年建設省(現国土交通省)入省、東京ドームや恵比寿地区開発等のビッグプロジェクトに携わる。茨城県住宅課長、阪神淡路大震災建築物危険度判定本部長、中国建設部派遣、地域住宅計画官を歴任。1997年長岡市長に初当選(以降5期)。中越地震からの復興、市町村合併、アオーレ長岡の建設等に取り組む。2009年全国市長会会長に就任(以降4期)。2016年退任。

講義概要 人口減少が進む中で、インフラの老朽化、頻発する自然災害、地方の疲弊などの諸課題に地方自治体としてどのように対応していくか。また、限られた財源の中で、市民の理解を得ながら、如何にして将来にわたって持続可能な社会資本整備を実現していくか。さらには、インフラ整備と市民生活の質の向上とを如何にして両立させるか等について、長岡市等の現場の実態を踏まえつつ地方自治体経営の視点から具体的に考える。

【パネルディスカッション】我が国が直面する構造改革と社会資本整備

森 民夫 *Tamio Mori*

▶パネリスト

前全国市長会 会長・前長岡市長

プロフィール 1975年建設省(現国土交通省)入省、東京ドームや恵比寿地区開発等のビッグプロジェクトに携わる。茨城県住宅課長、阪神淡路大震災建築物危険度判定本部長、中国建設部派遣、地域住宅計画官を歴任。1997年長岡市長に初当選(以降5期)。中越地震からの復興、市町村合併、アオーレ長岡の建設等に取り組む。2009年全国市長会会長に就任(以降4期)。2016年退任。

中原 淳 *Jun Nakahara*

▶パネリスト

首都高速道路(株) 取締役常務執行役員

プロフィール 1987年東京大学法学部卒、建設省入省。ゼネコンの経営再生や道路公団等の民営化等を担当する一方、外交官としてニューヨークで米大統領選挙の分析、静岡県でまちづくりに携わる。その後、国土交通省大臣秘書官、PFI/PPPを担当する官民連携政策課長、インフラ老朽化等を担当する参事官等、道路局総務課長を経て、現在、首都高速道路(株)取締役常務執行役員に就任。趣味は、ヴァイオリン演奏、音楽鑑賞、登山、ワインなど。

平石 和昭 *Kazuaki Hiraishi*

▶パネリスト

エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ(株) 副社長

プロフィール 1984年(株)三菱総合研究所入社。運輸政策研究所やアジアパイプライン研究会への出向等を経て2016年10月より現職。この間、新幹線等大規模交通インフラの需要予測・経済効果分析、北東アジア天然ガスパイプラインの企画・構想立案、社会インフラ海外展開等のプロジェクトに参画。専門は、土木計画、交通経済、エネルギー経済。広島県出身。趣味：ゴルフ、テニス、音楽鑑賞、散歩。

五十嵐 浩也 *Hiroya Igarashi*

▶コーディネーター

筑波大学教員(芸術系・教授) / ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長

プロフィール GKインダストリアル・デザイン研究所、富士ゼロックスデザイン研究所を経て、筑波技術短期大学聴覚部デザイン学科、そののち現職。